

学校だより

令和2年7月1日(水) 第4号

自ら学ぶ生徒・心の豊かな生徒・強くたくましい生徒
～知・徳・体・コミュニケーションのバランスのとれた教育の推進～

さいたま市立西原中学校

住所 さいたま市岩槻区大字岩槻 3750 番地

電話 048-756-1117

学校 Web ページ <http://nishihara-j.saitama-city.ed.jp/>

大切な言葉

校長 堀口 成之



うっとうしい梅雨空が続く中、今年もたくさんのアジサイが校内に彩を添えています。正門の両脇をはじめ、校舎南側を中心に植えられた青紫色の花が美しく咲いています。春の桜から始まり、花の移ろいを目にすると、時は確実に経過しているのだと改めて気づかされます。相変わらず、新型コロナウイルス感染症に係る報道が続く中、7月を迎えました。保護者、地域の皆様におかれましては、お変わりなくお過ごしのことと存じます。

例年であれば、各学年行事や期末テストも終わり生徒たちは部活動の大会やコンクール等に向け頑張っている時期です。しかし、今年度はご承知のとおり、4・5月は授業が行えなかったため、授業時間確保を目的に1学期が7月31日までとなるとともに、夏季休業日も8月1日から8月16日までと短くなりました。さらに、今後、土曜授業日の実施や冬季休業日の期間短縮、また、行事の精選や縮小、延期や中止などをせざるを得ません。生徒と共に教職員も今までの遅れを取り戻そうと必死で授業や部活動に取り組んでいます。6月1日からの分散登校に始まり、15日からは「新しい生活様式」の中で一日一日着実に学校生活を送っています。学校再開当初は、生徒も教職員も学校生活のリズムを取り戻すために大変な苦勞をしました。ウイルスの感染拡大への不安と大きなストレス、運動不足を抱えながら、疲労困憊の様子もありましたが、7月に入りようやく落ち着いて生活が送れてきているようです。しかし、3年生にとっては、本当に厳しい学年のスタートとなりました。最高学年であり、受験生である生徒たちにとって、学習の遅れへの不安、部活動の停止、大会等の中止への残念な気持ちとやり場のない憤りが感じられ、本当に残念でなりません。そんな中で、各教科、各学年・学級では、今学期学んできた内容を振り返り、成長を認め課題を明らかにし、夏休みを迎えられるように指導してまいります。

さて、6月の生活目標は「思いやりを大切に、明るくあいさつをしよう」でした。毎朝の正門でのあいさつ運動もこれから本格的に始まりますが、久しぶりの登校時の生徒たちの「おはようございます!」という声を耳にし、心から喜びを感じました。本市では生徒指導の一環として「心を潤す4つの言葉」～見えない心を伝えよう～を推進しています。「はい」「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」の4つの言葉を主体的に言えるようにしようという取組です。特に「あいさつ」は、人が生活していく中で欠かすことのできない潤滑油だと思います。また、「はい」という返事も、様々な場面で使われる基本的な言葉ですが、大きな声での「はい」はとても気持ちの良いものです。さらに、「ありがとうございます」「ごめんなさい」は、多くの方が仲良く生きていくためになくてはならない言葉です。これらの言葉をはじめ、学校では言語環境充実に向け、今後も努力してまいりますので、ご家庭でもご理解とご協力をいただき、共に実践していただければ幸いです。